



ごみの分別と資源化

分ければ資源、混ぜればごみ

私たちの生活からは毎日たくさんのごみが出ていますが、ごみの中にはまだまだ使える資源が残っています。ごみとして焼却・埋め立てられるのか、資源となるのかは、ごみを捨てる時に決まります。

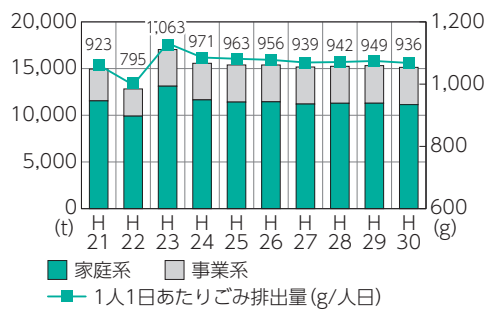
ごみと資源が正しく分別されれば、資源の再利用とごみの削減につながり、持続可能な循環型社会を構築することができます。

また、地域の皆さんが管理している集積所のごみの未回収を防ぎ、集積所が清潔に保たれる利点があります。分別が適切であれば焼却効率が良くなり、焼却炉や埋立地が長く利用できるようなります。分別によるごみの削減と資源の確保はとても重要な問題となっています。

現在、「脱プラスチック」や新型コロナウイルス対策としての「新しい生活様式」など、私たちの生活に一つの転機が訪れています。生活スタイルが変化する今だからこそ、ごみの分別を改めて考えてみませんか。

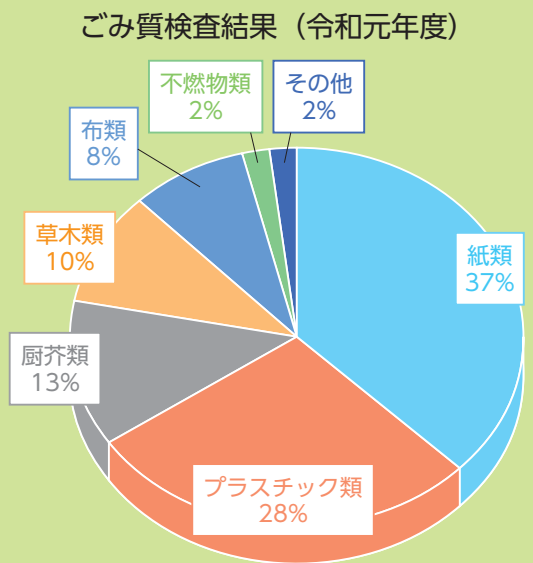
なお、本市のごみ対策に関する取り組みについては、岩沼市環境白書「岩沼の環境」も併せてご覧ください。

岩沼市の1人1日あたりのごみの排出量



岩沼市の「ごみ」を知ろう

岩沼東部環境センター(ほぽか)で処理されている市のごみの排出量を種類別に見てみると、次のような割合になります。



- 1位 紙類
 - ・ 雑紙 (コピー用紙、チラシなど)
 - ・ 紙製容器包装 など
- 2位 プラスチック類
 - ・ プラスチック製容器
 - ・ プラスチック製品(おもちゃなど)など
- 3位 厨芥類 (台所ごみ)
 - ・ 肉や野菜などの調理くず
 - ・ 食べ残し → **食品ロス**

「ウィズコロナ」とごみ問題

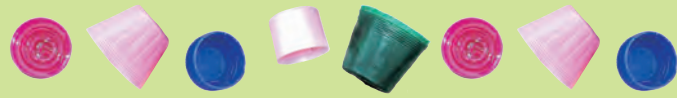
「新しい生活様式」が定着しつつある一方、ごみの捨て方にも注意が必要です。いつ誰が感染するか分からない状況の中、一人ひとりがごみ捨てのマナーを守ることで感染拡大を防ぐことができます。

ごみに直接触れないよう、袋の口をしっかり締めましょう。

ごみ箱に袋をかぶせ、中身がいっぱいになる前に袋ごと取り出しましょう。



問 / 生活環境課
 (☎ 内線 3332・3333・3335)
 巨理名取共立衛生処理組合
 (☎ 23-1178)



脱 プ ラ 時代がやってくる

日本でも7月からレジ袋が有料化されるなど、「脱プラスチック化」が進められています。

お 気に入りを見つけて今すぐ脱プラ

エコバッグで脱プラ

小さく収納できる、頑丈な素材で作られているなどの機能性だけでなく、見た目がおしゃれなエコバッグも増えています。バッグを選ぶ楽しみを脱プラにつなげましょう。



マイボトルで脱プラ

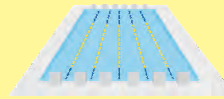
外出先で思わず買ってしまう飲料水。マイボトルに好きな飲み物を入れて持ち歩けば、エコだけでなく節約することもできます。



岩沼市のごみ排出量（令和元年度）
年間 1万5,585ト

25^リプール

（幅12^リ×長さ25^リ×深さ1.2^リ）



× 43杯分以上

高さになると51.6^リ

千年希望の丘（10^リ）



× 5基より高い

ペ ットボトルはどうして分別するの

①ふた、本体、ラベルで素材が異なるため

分別により、リサイクル後の品質が高くなります。

②処分の過程での破裂を防ぐため

プレス機にかける際に、ふたが付いたままだと容器が破裂し、破片が飛散する危険性があります。

③容器を空にするため

プレス機などに液体が付着すると、機械が不具合を起こす場合があります。また、作業時の衛生環境を守る必要があります。



ごみを分別するには

市では、ごみを正しく分別するために「ごみの分け方と出し方」を作成しています。プラスチック製容器や古新聞など、いつどのように捨てれば良いのか、ごみの種類ごとに分かりやすく解説しています。市ホームページまたは生活環境課で配布していますので、ご利用ください。



ごみを捨てた後は、流水と石けんでよく手を洗いましょう。

ごみ袋が収集車の中で破裂しないよう、袋の中の空気は抜きましょう。

